

整理番号	2023M-	236	補助事業者名	地方独立行政法人 山口県産業技術センター	事業項目名	ガスクロマトグラフ質量分析装置
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	-----------------

### 別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(4/5)

#### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	3	月	15	日	作成者	松田 晋幸
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

##### (a) 個別項目評価

<b>●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。</b>					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	事業の実施予定表のとおり、機種選定委員会、制限付き一般競争入札を順調に行うことで、令和5年12月にガスクロマトグラフ質量分析装置を導入することができた。導入後は関係職員へのトレーニングを行い、開放機器としてのサービスを開始した。また、ホームページへの掲載やリーフレットの作成・配布等で機器紹介を行い広報につとめた。利用者に対してアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の 新規性または 継続の 必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
	効率的に入札・契約等を行い、目標より2か月程度早く、令和5年12月に導入することができた。導入後は機器担当者が操作方法等のトレーニングを行うなど機器開放にむけて準備を進め、令和6年2月に開放機器等の支援サービスを開始することができており、実施計画・体制は妥当であった。			4	
(3) 達成 目標	事業の 実施 結果	[達成値] 令和5年12月14日 納入	[達成状況] 120%	[具体的内容] 目標値の令和6年2月の導入に対して、2か月程度前倒して導入(納入・検収)できた。	5
	事業の 成果・ 波及	[達成値] 1. 26.9時間/月 2. 満足度100%	[達成状況] 1. 90% 2. 125%	[具体的内容] 1. 利用時間は目標をやや下回った。 2. 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分にあったと考える。	4
(4) 情報 発信	事業の 実施 結果	[達成値] 1. 240部 2. 1回 3. 3回	[達成状況] 1. 160% 2. 100% 3. 100%	[具体的内容] 1. 機器紹介のリーフレットを240部配布した。当センターで開催するセミナーや技術相談窓口で配布し、受益者である地域の企業に周知することができた。また、展示会においても配布し、広く周知することができた。 2. 導入時に、当センターの職員に対し、電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3. JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの到着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
	競争・オ ートレス 補助金によ る事業で あること	[達成値] 1. 240部 2. 5か所 3. 3回	[達成状況] 1. 160% 2. 125% 3. 100%	[具体的内容] 1. 当センターで配布した機器紹介のリーフレットにJKAのロゴマークとJKAの補助を受けた導入した旨を記載して240部を配布した。 2. 補助対象機器の設置場所(2か所)、玄関ロビー(1か所)、開放機器受付付近(2か所)に計5枚のJKAポスターを掲示した。 3. JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの到着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の 体制	令和6年3月14日に評価委員会(技術支援部長ほか8名で構成。委員長は技術支援部長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。			4	

##### (b) 総合評価

総合 評価点	5
-----------	---

<b>●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。</b>	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補 助事業の直接的 な目的」を踏ま えた、事業全体 についての 意見・所感	既設機器は経年劣化による不具合の増加やメーカーのサポート期間終了により、企業支援業務に支障を来している状況であった。導入する機器については整備機器要望に関する地域企業へのアンケートでは、更新希望企業が多く、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。
(2) 優れている 点・課題、改善 すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入は順調に進んだが、導入後の利用状況が目標値をやや下回っており、今後、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、ア ピールしたい 点、是非知って もらいたい点	導入した機器は、微量な揮発性有機化合物の同定・定量が可能で未知の試料の同定が可能。また、におい嗅ぎユニットを装着していることから、においの官能評価が行えることが特徴となっている。これにより、製品(揮発性有機化合物)から放出されるガスの構造推定(未知の試料の同定)や天然香料や原因不明の異臭など匂いに関する分析が可能となり、県内の機械工業製品、金属製品、プラスチック製品等を製造する企業の製造工程改善、品質管理技術の向上、製品開発、不具合原因調査等において必要な成分分析に対応できる体制が整った。

【公設[機械設備]

整理番号	2023M-	236	補助事業者名	地方独立行政法人 山口県産業技術センター	事業項目名	高速液体クロマトグラフ質量分析装置
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	-------------------

## 別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	3	月	15	日	作成者	松田 晋幸
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	事業の実施予定表のとおり、機種選定委員会、制限付き一般競争入札を順調に行うことで、令和5年11月に高速液体クロマトグラフ質量分析装置を導入することができた。導入後は関係職員へのトレーニングを行い、開放機器としてのサービスを開始した。また、ホームページへの掲載やリーフレットの作成・配布等で機器紹介を行い広報につとめた。利用者に対してアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	効率的に入札・契約等を行い、目標より2か月程度早く、令和5年11月下旬に導入することができた。導入後の関係職員へのトレーニングや機器開放に向けた準備には予定よりも多くの時間を要したが、装置の納入・設置については早期に実施できていたため、当初の実施予定通り、令和6年3月に開放機器等の支援サービスを開始することができ、実施計画・体制は概ね妥当であった。			4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和5年11月30日 納入	[達成状況] 120%	[具体的内容] 目標値の令和6年2月の導入に対して、2か月程度前倒して導入(納入・検収)できた。	5
	事業の成果・波及	[達成値] 1. 43.4時間/月 2. 満足度100%	[達成状況] 1. 434% 2. 125%	[具体的内容] 1. 利用時間は目標を大きく上回った。 2. 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分にあったと考える。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1. 240部 2. 1回 3. 3回	[達成状況] 1. 160% 2. 100% 3. 100%	[具体的内容] 1. 機器紹介のリーフレットを240部配布した。当センターで開催するセミナーや技術相談窓口で配布し、受益者である地域の企業に周知することができた。また、展示会においても配布し、広く周知することができた。 2. 導入時に、当センターの職員に対し、電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3. JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
	競争・オトレス補助金による事業であること	[達成値] 1. 240部 2. 5か所 3. 3回	[達成状況] 1. 160% 2. 125% 3. 100%	[具体的内容] 1. 当センターで配布した機器紹介のリーフレットにJKAのロゴマークとJKAの補助を受けた導入した旨を記載して240部を配布した。 2. 補助対象機器の設置場所(2か所)、玄関ロビー(1か所)、開放機器受付付近(2か所)に計5枚のJKAポスターを掲示した。 3. JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の体制	令和6年3月14日に評価委員会(技術支援部長ほか8名で構成。委員長は技術支援部長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。				4

#### (b) 総合評価

総合 評価点	5
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	既設機器はサポート期間終了により、不具合箇所の修理ができない状況であった。また同種の他の機器では感度が足りず分析できない状況であったため企業支援に支障が出ていた。導入する機器については整備機器要望に関する地域企業へのアンケートでは、更新希望企業が多く、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】納入後の機器開放までの準備に想定以上の時間を要し、納入後のスケジュール管理に課題が残った。機器の利用状況については目標値を達成しており、今後も利用数の維持に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	導入した機器は、液体に溶解するものあれば分析が可能で幅広い試料に利用が可能。また、本機器には質量分析装置を装備しており、高感度な検出が可能となっていることが特徴である。これにより、県内の機械工業製品、金属製品、プラスチック製品等を製造する企業の製造工程改善、品質管理技術の向上、製品開発、不具合原因調査等において必要な成分分析に対応できる体制が整った。

【公設[機械設備]